

# SHIBORI

世界の絞り  
Tie-dye from the World

6.9 fri. → 9.4 mon.

開館時間／10:00～16:30（6月30日、7月14日は19:00まで。入館は閉館の30分前まで）  
休館日／日曜日、祝日（ただし6月11日、8月6日は開館）、夏期休館：8月11日～20日  
入館料／一般 500円、大高生 300円、小中生 200円  
※20名以上の団体は100円引。障がい者とその付添者1名は無料  
ギャラリートーク／7月1日（土）、9月2日（土）各回13:30～（12:30より受付順30名）



ヴュール・オダニ インド 19世紀後半 撮影:小林康浩



着物 江戸時代末 三井家旧蔵



儀式用布 モロッコ 20世紀初め



男性用衣装 マリ 1990年頃



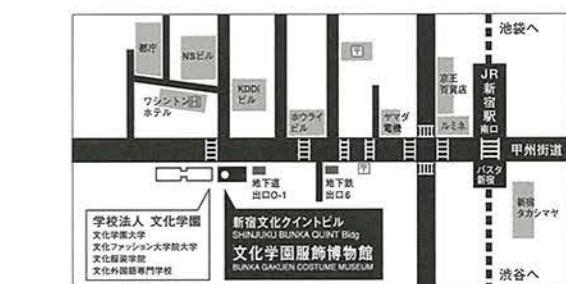
サリー インド 1980年代



掛布 フィリピン 20世紀前半



衣服用製 ベルー ワリ文化期



文化学園服飾博物館  
BUNKA GAKUEN COSTUME MUSEUM

〒151-8529 東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化ケントビル  
TEL.03-3299-2387 JR・京王線・小田急線新宿駅（南口）より徒歩7分  
都営地下鉄新宿線・大江戸線・京王新線新宿駅（新都心口）より徒歩4分 地下道出入口O-1に隣接

学校法人文化学園

文化学園大学／文化ファッション大学院大学／文化服装学院  
文化外国语専門学校／文化出版局／文化学園服飾博物館



世界の絞り

SHIBORI  
Tie-dye from the World

絞り染めは、染め残し部分を作ることで文様を表すもので、古くから世界各地で行われてきました。染め残しを作るためには「糸で括る、縫い締める、型ではさむ」などさまざまな方法があり、その表情は、染料のにじみ具合で偶然に生み出される素朴で抽象的な文様から、染め残しを予め計算して絵画的文様を表した緻密なものまで多種多様です。本展では、江戸後期から昭和時代までの絹・木綿の着物、アジアやアフリカの民族衣装、古代インカの裂など、約25か国、130点あまりの多彩な絞りの美とその技法を紹介します。